

## 検査項目

## 測定参考文献

### 蛋白・膠質反応

総蛋白(TP)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版):473~480,2005. C. P. Flack, et al : Clin. Chem. 30 (4) : 559 ~ 561, 1984.
アルブミン(Alb)	久谷 直人:日本臨牀 67 (増刊号 広範囲 血液・尿化学検査, 免疫学的検査(第7版) 1) : 224, 2009.
尿中アルブミン	舩方 栄二:検査と技術 33 (7) : 625 ~ 630, 2005.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	舩方 栄二:検査と技術 33 (7) : 625 ~ 630, 2005.
A/G比	浅井 孝道:検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤 喜久:Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
尿中蛋白分画	伊藤 喜久:Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.

### 酵素および関連物質

CK(CPK)	日本臨床化学会:臨床化学 19 (2) : 184 ~ 208, 1990.
CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	Wurzburg U et al : Klinische Wochenschrift 54 : 357 ~ 360, 1976.
CK-MB(CPK-MB)(ECLIA)	米田 孝司,他:臨床検査機器・試薬 22 (1) : 51 ~ 56,1999.
CK(CPK)アイソザイム	高木 康,他:臨床検査 32 (11) : 1309 ~ 1315, 1988.
AST(GOT)	日本臨床化学会:臨床化学 18 (4) : 226 ~ 230, 1989.
ALT(GPT)	日本臨床化学会:臨床化学 18 (4) : 250 ~ 254, 1989.
LD(LDH)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
LD(LDH)アイソザイム	森山 隆則,他:Medical Technology 25 (1) : 45 ~ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤 健太郎,他:医学と薬学 55 (2) : 279 ~ 285, 2006.
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	Shinichiro Watanabe, et al : Pediatr Neurosurg 48 : 141 ~ 145, 2012.
ALPアイソザイム(IFCC)	芝 紀代子:目でみる電気泳動法 2 (医歯薬出版) : 55 ~ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	日本臨床化学会:臨床化学 24 (2) : 106 ~ 121, 1995. 日本臨床化学会:臨床化学 30 (3) : 171 ~ 184, 2001.
アルドラーゼ	三浦 雅一,他:臨床検査機器・試薬 12 (5) : 1005 ~ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	日本臨床化学会:臨床化学 32 (2) : 162 ~ 179, 2003.
グアナーゼ	手登根 稔,他:検査と技術 13 (10) : 901 ~ 905, 1985.
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	佐野 史良,他:臨床検査機器・試薬 9 (4) : 715 ~ 720, 1986.
ロイシニアミノペプチダーゼ(LAP)	堺 隆弘:日本臨牀 53 (増刊号1) : 303 ~ 306, 1995.
アミラーゼ(AMY)	日本臨床化学会:臨床化学 34 (4) : 350 ~ 361, 1989.
アミラーゼアイソザイム	星野 忠,他:日本臨床検査自動化学会誌 37 (3) : 293 ~ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠 信之: The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
リパーゼ	Shigeyuki Imamura, et al : Clin. Chem. 35 (6) : 1126, 1989.
トリプシン	植田 進之介,他:医学と薬学 77(12):1659~1668, 2020.
膵ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (膵PLA <sub>2</sub> )	竹田 昌弘,他:ホルモンと臨床 38 (7) : 729 ~ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出 勝也,他:肝と膵 23(6):477~480, 2002.
子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	北村 光,他:臨床検査機器・試薬 21 (4) : 357 ~ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢 良記,他:医学と薬学 54 (5) : 709 ~ 717, 2005.
リゾチーム	北村 元仕:実践臨床化学 増補 : 432 ~ 436, 1982.
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al : Clinical Chemistry 27 (11) : 1922 ~ 1925, 1981.
N-アセチルグルコサミンダーゼ(NAG)	千住 紀,他:臨床病理 33 (12) : 1407 ~ 1412, 1985. 芝 紀代子,他:臨床検査 32 (11) : 1222 ~ 1232, 1988.
ペプシノゲン	三木 一正,他:医学と薬学 56 (6) : 889 ~ 896, 2006.
MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	氏家 真二,他:医学と薬学 67 (5) : 741 ~ 747, 2012.
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)(LA)	乾 正幸,他:日本ヘリコバクター学会誌 19 (1) : 33 ~ 42, 2017.

### 低分子窒素化合物

クレアチニン	小島 進,他:日本臨牀 53 (増刊号1) : 460 ~ 463, 1995. 金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 499 ~ 503, 2005.
シスタチンC	佐藤 弘恵,他:モダンメディア 52 (4) : 109 ~ 114, 2006.
尿酸(UA)	西岡 久寿樹:日本臨牀 43 (秋季増刊上巻) : 247 ~ 250, 1985. 加賀美 年秀:プリン・ピリミジン代謝 20 (2) : 162 ~ 165, 1996.
尿酸窒素(UN)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 496 ~ 499, 2005. Heinrich Kaltwasser et al : Analytical Biochemistry 16 (1) : 132 ~ 138, 1966.
アンモニア	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 507 ~ 510, 2005.
アミノ酸分析(39種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会:生化学実験講座 11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版:53~67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村 俊之,他:臨床病理 37 (8) : 911 ~ 917, 1989.
γ-アミノ酪酸(GABA)	Fujiwara M et al : Analytical Biochemistry 166 : 72 ~ 78, 1987.
ハイドロキシプロリン-総	鈴木 隆夫,他:日本臨床化学会年会記録 28 : 118, 1988.
血中総ホモシステイン	Christian Hellmuth, et al : Journal of Chromatography B, 879 : 83 ~ 89, 2011.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 糖質および関連物質

グルコース	前川 聡,他:日本臨床 53 (増刊号1): 527 ~ 531, 1995.
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	清水 章,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 629 ~ 635, 2000.
グリコアルブミン	古川 聡子,他:医学検査 61 (1): 95 ~ 98, 2012.
ヒアルロン酸	島村 朗,他:医学と薬学 44 (6): 1141 ~ 1146, 2000.
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	遠藤 輝夫,他:医療と検査機器・試薬 26 (1): 45 ~ 50, 2003.
糖代謝解析	張 春花,他:金医大誌 21: 399 ~ 410, 1996.
シアル酸	水田 亘,他:臨床病理 特(54): 128 ~ 134, 1983.

### 有機酸

乳酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8 (3): 16 ~ 24, 1985.
ヒルビン酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8 (3): 16 ~ 24, 1985.
尿中シュウ酸	小川 由英,他:腎と透析 臨増: 151 ~ 157, 1997.
血中ケトン体分画	西ヶ谷 晴美,他:医学検査 45 (3): 353, 1996.
アセトン定量	深堀 すみ江,他:労働科学 59 (12): 555 ~ 562, 1983.
有機酸スクリーニング検査	河野 芳功,他:日本小児科学会雑誌 89 (10): 2327 ~ 2334, 1985.

### 脂質および関連物質

中性脂肪(TG)	福井 巖,他:日本臨床 40 (秋季増刊): 264 ~ 276, 1982. 日本動脈硬化学会:動脈硬化性疾患診療ガイドライン2002年度版: 5 ~ 7, 2002.
リン脂質	鈴木 博,他:日本臨床 53 (増刊号1): 623 ~ 626, 1995.
遊離脂肪酸(NEFA)	Sugo S, et al: Clinical Chemistry 36 (1): 163, 1990.
総コレステロール(T-Cho)	日本動脈硬化学会:動脈硬化性疾患診療ガイドライン2002年度版: 5 ~ 7, 2002.
遊離コレステロール(F-Cho)	Richmond W: Clinical Chemistry 19 (12): 1350 ~ 1356, 1973.
HDL-コレステロール	平井 信弘,他:医学検査 55 (3): 202 ~ 207, 2006.
HDL <sub>2,3</sub> コレステロール	Bronzert TJ et al: Clinical Chemistry 23 (11): 2089 ~ 2098, 1977.
LDL-コレステロール	石田 千春,他:PROGRESS IN MEDICINE 20 (9): 1869 ~ 1872, 2000. 佐伯 仁志,他:臨床検査機器・試薬 21 (5): 496 ~ 502, 1998.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石 千早,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1): 83 ~ 87, 2010.
sd LDL-コレステロール	伊藤 康樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 37 (1): 10 ~ 16, 2012.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫:酸化ストレスマーカー 学術出版センター: 243 ~ 246, 2005.
脂肪酸分画(24成分)	小沢 昭夫,他:分析化学 31: 87 ~ 91, 1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢 昭夫,他:分析化学 31: 87 ~ 91, 1982.
極長鎖脂肪酸	小池 亮子:小児科診療 53 (増): 394 ~ 397, 1990.
総胆汁酸	今野 稔:臨床検査機器・試薬 16 (3): 472 ~ 479, 1993.
β-リポ蛋白	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版 (金原出版): 548, 2005.
リポ蛋白分画(アガロースゲル電気泳動法)	芝 紀代子:目でみる電気泳動法2: 91 ~ 99, 1989.
コレステロール分画	櫻林 郁之介,他:HDL-コレステロール基礎と臨床 (株)テクノ: 207 ~ 220, 1980.
リポ蛋白(a)	野村 秀一,他:代謝 28 (4): 265 ~ 274, 1991.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al: Clinica Chimica Acta 216: 113 ~ 123, 1993.
アポリポ蛋白 A-I	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 A-II	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 B	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 C-II	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 C-III	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白 E	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4): 334, 1987.
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	片岡 伸久朗,他:臨床検査 37 (12): 1267 ~ 1271, 1993.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木 卓,他:医学と薬学 71 (1): 161 ~ 166, 2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	土居 耕介,他:医学と薬学 78 (3): 261 ~ 267, 2021.

### ビタミンおよび関連物質

β-カロチン	加美山 茂利,他:臨床検査 31 (3): 268 ~ 274, 1987.
ビタミンA	須原 聡,他:臨床検査 36 (3): 235 ~ 239, 1992.
ビタミンB <sub>1</sub>	宮川 秀則,他:生物試料分析 36 (4): 327 ~ 330, 2013.
ビタミンB <sub>2</sub>	大石 誠子:ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法(化学同人): 71 ~ 80, 1989.
ビタミンB <sub>6</sub>	吉田 継親,他:薬学雑誌 98 (10): 1319 ~ 1326, 1978.
ビタミンB <sub>12</sub>	伊森 誠,他:医療と検査機器・試薬 27 (3): 215 ~ 221, 2004.
カルニチン分画	伊丹 儀友,他:臨床検査58 (5): 651 ~ 658, 2014.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al: Analytical Biochemistry 229: 329~335, 1995.
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	岡崎 亮:モダンメディア 63 (3): 47 ~ 50, 2017.
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	岡崎 亮:モダンメディア 63 (3): 47 ~ 50, 2017.
1,25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	Fraser WD et al: Ann Clin Biochem 34: 632~637, 1997.
ビタミンE	阿部 皓一,他:栄養と食糧 28 (5): 277 ~ 280, 1975.
ビタミンE分画	阿部 皓一,他:ビタミン 49 (7): 259 ~ 263, 1975.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

ビタミンK分画	langenber JP et al : Journal of Chromatography 305 : 61 ~ 72, 1984.
葉酸	西村 和子,他 : 生物試料分析 35 (4) : 299 ~ 308, 2012.
ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢 滋 : ビタミン 56 (9・10) : 487 ~ 499, 1982.

## 電解質・血液ガス

Na(ナトリウム)	木野内 喬 : 日本臨牀 53 (増刊号1) : 748 ~ 752, 1995.
K(カリウム)	木野内 喬 : 日本臨牀 53 (増刊号1) : 753 ~ 757, 1995.
Cl(クロール)	木野内 喬 : 日本臨牀 53 (増刊号1) : 758 ~ 761, 1995.
Mg(マグネシウム)	荒川 泰行 : 日本臨牀 53 (増刊号1) : 762 ~ 768, 1995.
Ca(カルシウム)	赤津 拓彦 : 日本臨牀 53 (増刊号1) : 769 ~ 771, 1995. 金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 569 ~ 574, 2005.
イオン化カルシウム	桑 克彦 : 検査と技術 19 (2) : 119 ~ 124, 1991.
P(無機リン)	John A. Daly et al : Clin. Chem. 18 (3) : 263 ~ 265, 1972. 金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 574 ~ 577, 2005.
浸透圧	鈴木 明,他 : 検査と技術 6 (9) : 759 ~ 762, 1978.

## 生体微量金属

鉄(Fe)(血清)	松原 高賢 : 鉄と血色素-その測定法と臨床-(南江堂) : 157 ~ 164, 1963. D. H. Jung, Ph. D, et al : Am. J. Clin. Pathol. 54 (6) : 813 ~ 817, 1970. 金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 579 ~ 581, 2005.
鉄(Fe)(尿)	溝口 秀昭 : 臨床医 8 (10) : 1624 ~ 1626, 1982.
総鉄結合能(TIBC)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 581 ~ 583, 2005.
不飽和鉄結合能(UIBC)	W. N. M. Ramsay : Clinica Chimica Acta 2 (3) : 221 ~ 226, 1957. 金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 581 ~ 583, 2005.
Cu(銅)(血清)	Abe A et al : Clinical Chemistry 35 (4) : 552 ~ 554, 1989.
Cu(銅)(尿)	Ichida T et al : Clinica Chimica Acta 24 : 299 ~ 303, 1969.
Zn(亜鉛)(血清)	井上 哲,他 : 医療と検査機器・試薬 41 (3) : 283 ~ 287, 2018.
Zn(亜鉛)(尿)	Meret S et al : Clinical Chemistry 17 (5) : 369 ~ 373, 1971.

## 生体色素関連物質

総ビリルビン(T-Bil)	徳田 邦明,他 : 臨床化学 22 (2) : 116 ~ 122, 1993.
直接ビリルビン	徳田 邦明,他 : 臨床化学 22 (2) : 116 ~ 122, 1993.
間接ビリルビン	徳田 邦明,他 : 臨床化学 22 (2) : 116 ~ 122, 1993.
コプロポルフィリン 定性	近藤 雅雄 : 日本臨牀 53 (6) : 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄 : 日本臨牀 53 (6) : 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(血液)	Salmi M et al : Clinical Chemistry 26 (13) : 1832 ~ 1835, 1980.
ウロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄 : 日本臨牀 53 (6) : 1377 ~ 1382, 1995.
ウロポルフィリン(血液)	Salmi M et al : Clinical Chemistry 26 (13) : 1832 ~ 1835, 1980.
プロトポルフィリン	Salmi M et al : Clinical Chemistry 26 (13) : 1832 ~ 1835, 1980.
δ-アミノレブリン酸(δ ALA)	園藤 陽子,他 : 産業医学 35 : 126 ~ 127, 1993.

## 毒物・産業医学的代謝物質

尿中総三塩化物 トリクロルエチレン	城山 康,他 : 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 1・1・1-トリクロルエタン	城山 康,他 : 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 テトラクロルエチレン	城山 康,他 : 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 トリクロルエチレン	城山 康,他 : 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 1・1・1-トリクロルエタン	城山 康,他 : 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 テトラクロルエチレン	城山 康,他 : 松仁会医誌 25 (2) : 225 ~ 231, 1986.
尿中馬尿酸	岸浪 菊江子,他 : 臨床化学 17 (3) : 128 ~ 135, 1988.
尿中メチル馬尿酸	岸浪 菊江子,他 : 臨床化学 17 (3) : 128 ~ 135, 1988.
尿中スチレン代謝物	岸浪 菊江子,他 : 臨床化学 17 (3) : 128 ~ 135, 1988.
尿中マンデル酸エチルベンゼン	岸浪 菊江子,他 : 臨床化学 17 (3) : 128 ~ 135, 1988.
尿中N-メチルホルムアミド	Mrasz J et al : Journal of Chromatography 414 : 399 ~ 404, 1987.
尿中2,5-ヘキサジオン	Iwata M et al : Int Arch Occup Environ Health 51 : 253 ~ 260, 1983.
アルミニウム(Al)	Oster O : Clinica Chimica Acta 114 : 53 ~ 60, 1981.
クロム	松岡 澄 : 産業医学 13 (6) : 525 ~ 537, 1971. 田中 俊行,他 : 医学と生物学 101 (5) : 277 ~ 281, 1980.
カドミウム	Lagesson V et al : Clinical Chemistry 25 (11) : 1948 ~ 1953, 1979.
マンガン	Tsalev DL et al : Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17 (6) : 660 ~ 666, 1977.

## 生化学(その他)

ネオプテリン	Hausen A et al : Journal of Chromatography 227 : 61 ~ 70, 1982.
エタノール	馬嶋 正隆,他 : 北里医学 14 : 424 ~ 430, 1984.
イヌリン定量	木全 伸介,他 : 医療と検査機器・試薬 28 (2) : 143 ~ 149, 2005.
結石分析(成分比率)	神 ちひろ,他 : 分析化学 53 (7) : 735 ~ 741, 2004.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 抗菌薬

アミカシン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5): 860 ~ 864, 2008.
トブラマイシン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5): 860 ~ 864, 2008.
ゲンタマイシン	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6): 1061 ~ 1074, 1999.
バンコマイシン	清水 直也,他:TDM研究 14 (2): 168 ~ 173, 1997.
ティコブラニン	諸岡 美里,他:日本臨床検査自動化学会誌 38 (1): 79 ~ 82, 2013.

### 抗てんかん薬

カルバマゼピン	J. J. MacKichan et al : Br. J. Clin. Pharmacol. 12 (1) : 31 ~ 37, 1981.
ジアゼパム	Brodie RR et al : Journal of Chromatography 150 : 361 ~ 366, 1978.
エトスクシミド	宮本 侃治:臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
フェノバルビタール	Daniel R. Henderson et al : Clin. Chem. 32 (9) : 1637 ~ 1641, 1986.
フェニトイン	Henn Kutt et al : Arch Neurol. 11 (6) : 642 ~ 648, 1964.
ブリミドン	宮本 侃治:臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
バルプロ酸	David Chadwick : Am. J. Med. 84 (1) : 3 ~ 6, 1988.
トリメタジオン	斉藤 正行,他:ドラッグレベルモニタリング 治療への臨床化学的アプローチ: 100 ~ 110, 1982.
ゾニサミド	安田 真依,他:医療と検査機器・試薬 38 (2) : 205 ~ 210, 2015.
トピラマート	Matar, K M : Clinica Chimica Acta 411 : 729 ~ 734, 2010.
レベチラセタム	Mendu, D R, Soldin S J : Clinical Biochemistry 43 : 485 ~ 489, 2010.
ステリベントール	Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38(8) : 485 ~ 494, 2014.
ルフィナミド	Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38(8) : 485 ~ 494, 2014.
ペランパネル	Mano Y, et al : J Pharm Biomed Anal 107 : 56 ~ 62, 2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al : Bioanalysis 6 (23) : 3161 ~ 3168, 2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al : ドラッグレベルモニタリング: 90 ~ 91, 1982.

### 免疫抑制薬

シクロスポリン	古屋 実,他:医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
タクロリムス	古屋 実,他:医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
ミコフェノール酸	細坪 秀夫,他:今日の移植 14 (4) : 485 ~ 491, 2001.

### 循環器用薬

ジゴキシン	John Lindenbaum et al : N Engl J Med 285 (24) : 1344 ~ 1347, 1971.
ジソピラミド	扇谷 茂樹,他:臨床検査機器・試薬 6 (2) : 520 ~ 523, 1983.
リドカイン	宮本 侃治:臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
プロカインアミド	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
プロプラノロール	Ahnoff M et al : Journal of Chromatography 340 : 73 ~ 138, 1985.
ピルメノール	市川 林,他:臨床医薬 11 (4) : 903 ~ 906, 1995.
キニジン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.

### 精神神経用薬

ハロペリドール	白井 晶子,他:医学と薬学 49 (6) : 1011 ~ 1017, 2003.
プロムペリドール	白井 晶子,他:医学と薬学 50 (1) : 101 ~ 107, 2003.
リチウム	細羽 恵美子,他:臨床化学 46 (1) : 39 ~ 46, 2017.

### 薬物(その他)

アセトアミノフェン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
テオフィリン	Jacob V. Aranda et al : N Engl J Med 295 (8) : 413 ~ 416, 1976.
サリチル酸	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ヘパリン	Teien A et al : Thrombosis Reseach 8 (3) : 413 ~ 416, 1976.
メトトレキサート	中原 佑香里,他:医学と薬学 72 (4) : 761 ~ 767, 2015.
イマチニブ	Bakhtiar R, et al : Journal of Chromatography B 768 : 325 ~ 340, 2002.

### 血液一般・形態検査

血液一般検査	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 268 ~ 280, 2005.
網赤血球数(RET)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 280 ~ 281, 2005.
末梢血液像	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 295 ~ 316, 2005.
鼻汁喀痰中好酸球	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 857 ~ 858, 2005.

### 凝固・線溶関連検査

活性化部分 トロンボプラスチン時間(APTT)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 410 ~ 412, 2005.
プロトロンビン時間(PT)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 413 ~ 416, 2005.
フィブリノーゲン(FIB)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 419 ~ 421, 2005.
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	八戸 雅孝,他:臨床病理 60 (12)別冊 : 1139~1144, 2012.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤 澄悦,他:医学と薬学 48 (4) : 595 ~ 599, 2002.



# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

FDP定量(血漿)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版):447~451,2005.
FDP定量(尿)	堀内 伸純,他:臨床検査機器・試薬 14 (2):267~270,1991.
Dダイマー	堀内 伸純,他:臨床検査機器・試薬 14 (2):267~270,1991.
プロトロンビンフラグメントF1+2	Pelzer H, et al : Thrombosis and Haemostasis 65 (2) : 153 ~ 159, 1991.
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版):434~436,2005.
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	木村 真波,他:医療と検査機器・試薬 33 (4) : 525 ~ 533, 2010.
プラスミノゲン	Friberger P et al : Haemostasis 7 : 138 ~ 145, 1978.
アンチプラスミン( $\alpha_2$ プラスミンインヒビター)	Friberger P et al : Haemostasis 7 : 138 ~ 145, 1978.
$\alpha_2$ プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PICテスト)	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版):458~459,2005.
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	曾我部 万紀,他:医学のあゆみ 173 (12) : 997 ~ 998, 1995.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)(合成基質法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版):407~410,2015.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)(合成基質法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版):407~410,2015.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅺ因子(F11)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F12)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F13)	Fickenscher K et al : Thrombosis and Haemostasis 65 (5) : 535 ~ 540, 1991.
凝固抑制因子検査 第Ⅷ(8)因子	Sirridge MS et al : Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd : 196 ~ 198, 1983.
凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子	Sirridge MS et al : Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd : 196 ~ 198, 1983.
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	Macfarlane DE et al : Thrombosis Diatheses Haemorrh 34 : 306 ~ 308, 1975.
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	Susan Oliver et al : international journal of laboratory hematology 41 (6) : 762 ~ 771, 2019.
ADAMTS13-活性	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27 ~ 35, 2010.
ADAMTS13 インヒビター	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27 ~ 35, 2010.
$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18 (4) : 326 ~ 335, 1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18 (4) : 326 ~ 335, 1987.
プロテインC(抗原量)	筒井 聡明,他:検査と技術 12 (7) : 581 ~ 587, 1984.
プロテインC活性	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5) : 621 ~ 626, 2016.
プロテインS(抗原量)	安藤 秀実,他:医療と検査機器・試薬 41 (5) : 509 ~ 519, 2018.
プロテインS活性	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5) : 621 ~ 626, 2016.
プロテインS(遊離型抗原量)	安藤 秀実,他:医療と検査機器・試薬 41 (5) : 509 ~ 519, 2018.
トロンボモジュリン	小野 真弓,他:日本臨床検査自動化学会誌 38 (1) : 114 ~ 117, 2013.

## 視床下部・下垂体ホルモン

成長ホルモン(GH)	小山 沙世,他:医学と薬学 68 (5) : 899 ~ 910, 2012.
プロラクチン	岩佐 武,他:産婦人科治療 87 (2) : 243 ~ 251, 2003.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
黄体形成ホルモン(LH)	花田 浩之,他:医学と薬学 54 (3) : 387 ~ 394, 2005.
卵胞刺激ホルモン(FSH)	花田 浩之,他:医学と薬学 54 (3) : 387 ~ 394, 2005.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	北川 亘,他:医学と薬学 78 (1) : 59 ~ 70, 2021.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中 誠仁,他:医学と薬学 72 (8) : 1379 ~ 1388, 2015.

## 甲状腺ホルモンおよび結合蛋白

遊離トリヨードサイロニン(Free T <sub>3</sub> )	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5) : 793 ~ 804, 2020.
遊離サイロキシニン(Free T <sub>4</sub> )	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5) : 793 ~ 804, 2020.
サイログロブリン	森田 新二,他:医学と薬学 49 (5) : 797 ~ 805, 2003.

## 副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	三浦 雅一,他:医学と薬学 63 (1) : 121 ~ 126, 2010.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山 和重,他:医学と薬学 70 (4) : 829 ~ 836, 2013.
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本 誠二,他:ホルモンと臨床 40 (12) : 1309 ~ 1314, 1992.
カルシトニン	北川 亘,他:医学と薬学 72 (1) : 97 ~ 108, 2015.

## 副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

血中11-OHCS	宇田川 美佐子,他:臨床化学 5 (3) : 321 ~ 325, 1977.
コルチゾール	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
尿中コルチゾール	関口 昌江,他:医学と薬学 69 (6) : 985 ~ 991, 2013.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸 梨恵,他:医学と薬学 56 (3) : 443 ~ 448, 2006.
17 $\alpha$ -ヒドロキシprogesterone(生後4ヵ月以下)	柳瀬 里美,他:医学と薬学 78 (4) : 461 ~ 466, 2021.
17 $\alpha$ -ヒドロキシprogesterone(生後5ヵ月以上)	柳瀬 里美,他:医学と薬学 78 (4) : 461 ~ 466, 2021.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 副腎髄質ホルモン

カテコールアミン総	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
カテコールアミン3分画(血漿)	辻 潮,他:臨床検査機器・試薬 11 (4) : 635 ~ 641, 1988.
カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al : Analytica Chimica Acta 149 : 297 ~ 303, 1983.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	Clark ZD, et al : Journal of Chromatography B 879 (31) : 3673 ~ 3680, 2011.
L-ドーパ	守 和子 : 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
ドーバミン総	守 和子 : 産業医学 17 : 170 ~ 171, 1975.
HVA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12) : 2504 ~ 2506, 1988.
VMA	Gironi A et al : Clinical Chemistry 34 (12) : 2504 ~ 2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al : Gastroenterology 88 : 86 ~ 89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al : Journal of Chromatography 427 : 326 ~ 330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島 司,他:臨床化学 21 (2) : 119 ~ 126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al : Clinical Chemistry 31 (11) : 1849 ~ 1854, 1985.
MHPG	宮川 富三雄 : 蛋白質核酸酵素 26 (9) : 1089 ~ 1098, 1981.

### 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

エストラジオール(E <sub>2</sub> )	岩佐 武,他:産科と婦人科 73 (1) : 133 ~ 140, 2006.
IVF-エストラジオール(E <sub>2</sub> )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
プロゲステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
IVF-プロゲステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
プレグナンジオール	平井 利生,他:日本臨床検査自動化学会誌 9 (2) : 564 ~ 567, 1984.
プレグナントリオール	平井 利生,他:日本臨床検査自動化学会誌 9 (2) : 564 ~ 567, 1984.
テストステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)(ECLIA)	Blackburn GF, et al : Clinical Chemistry 37 (9) : 1534 ~ 1539, 1991.
遊離HCG-β(HCG-βサブユニット)	Cole LA : Clinical Chemistry 43 (12) : 2233 ~ 2243, 1997.
抗ミュラー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	浅田 義正,他:医学と薬学 76 (10) : 1527 ~ 1532, 2019.

### 膵・消化管ホルモン

C-ペプチド(CPR)	近藤 啓,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (2) : 190 ~ 195, 2008.
膵グルカゴン	稲垣 貴之,他:医学と薬学 72 (3) : 491 ~ 497, 2015.
ガストリン	花石 智子,他:医学と薬学 80 (5) : 513 ~ 520, 2023.

### 内分泌学的(その他)

アルドステロン(CLEIA)	佐藤 文俊,他:医学と薬学 76 (12) : 1819 ~ 1826, 2019.
レニン濃度(ARC)(CLEIA)	佐藤 文俊,他:医学と薬学 76 (12) : 1827 ~ 1832, 2019.
レニン活性(PRA)(EIA)	宇津 貴央,他:医学と薬学 73 (3) : 311 ~ 321, 2016.
サイクリックAMP	孫 孝義,他:日本内分泌学会雑誌 61 (9) : 912 ~ 923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	下迫 賢一,他:医学と薬学 57 (6) : 901 ~ 906, 2007.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	辻 哲,他:医療と検査機器・試薬 27 (1) : 31 ~ 36, 2004.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	吉田 大輔,他:医療と検査機器・試薬 42 (1) : 43 ~ 49, 2019.
エリスロポエチン	増田 詩織,他:医学と薬学 67 (2) : 297 ~ 306, 2012.
オステオカルシン	吉村 典子,他:Osteoporosis Japan 13 (3) : 759 ~ 765, 2005.
低カルボキシ化オステオカルシン(ucOC)	西村 順,他:医学と薬学 57 (4) : 523 ~ 535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他:臨床検査 35 (13) : 1360 ~ 1364, 1991.
FGF23(CLEIA)	和泉 裕一,他:医療と検査機器・試薬 42 (3) : 219 ~ 224, 2019.
アディポネクチン(LA)	Nishimura A. et al : Clinica Chimica Acta 371 : 163 ~ 168, 2006.
レプチン(ELISA)	小川 佳宏,他:医学と薬学 77 (5) : 1 ~ 8, 2020.
sFlt-1/PIGF比	Stefan Verlohren, et al : American Journal of Obstetrics Gynecology 202 (2) : 161. e1 ~ 161. e11, 2009.

### 腫瘍関連抗原

癌胎児性抗原(CEA)	黒田 雅頭,他:医学と薬学 56 (5) : 757 ~ 764, 2006.
α-フェトプロテイン定量(AFP)	黒田 雅頭,他:医学と薬学 56 (5) : 757 ~ 764, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽 光弘,他:臨床病理 36 (9) : 1039 ~ 1044, 1988.
CA125	黒田 雅頭,他:医療と検査機器・試薬 29 (6) : 589 ~ 596, 2006.
CA15-3	黒田 雅頭,他:医療と検査機器・試薬 29 (6) : 589 ~ 596, 2006.
BCA225	小林 美耶子,他:医学と薬学 72 (7) : 1249 ~ 1259, 2015.
CA19-9	黒田 雅頭,他:医学と薬学 56 (5) : 765 ~ 770, 2006.
CA72-4	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7) : 831 ~ 840, 2017.
シアリルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 16 (9) : 3213 ~ 3219, 1989.
CA54/61	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19 (12) : 2085 ~ 2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林 郁之介,他:臨床病理 34 (6) : 705 ~ 710, 1986.
シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 14 (5) : 1315 ~ 1321, 1987.
シアリルLe <sup>x</sup> 抗原(CSLEX)	三嶋 芳樹,他:医学と薬学 29 (5) : 1193 ~ 1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡 久,他:臨床病理 35 (11) : 1233 ~ 1238, 1987.

## 検査項目

## 測定参考文献

SPan-1	梅山 馨,他: 脾臓 3 (4): 528 ~ 539, 1988.
SCC	羽田 真理子,他: 医学と薬学 52 (1): 101 ~ 105, 2004.
前立腺特異抗原(PSA)	黒田 雅顕,他: 医学と薬学 56 (3): 449 ~ 454, 2006.
PSA F/T比タンデム	野村 朋子,他: 医学と薬学 51 (1): 179 ~ 186, 2004.
プロステートヘルスインデックスセット(phiセット)	伊藤 一人: 臨床検査 57 (12): 1448 ~ 1456, 2013.
γ-セミノプロテイン(γ-Sm)	佐藤 達郎,他: 医学と薬学 43 (1): 97 ~ 106, 2000.
シフラ(CYFRA) (サイトケラチン19フラグメント)	河合 忠,他: 臨床検査機器・試薬 16 (6): 1232 ~ 1238, 1993.
5-S-システニルドーバ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al: Clinical Chemistry 40 (3): 495 ~ 496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	有吉 寛: 癌の臨床 30 (6): 569 ~ 573, 1984.
PIVKA-II (CLEIA)	高津 和子,他: 臨床と研究 73 (11): 2656 ~ 2664, 1996.
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本 典江,他: 医療と検査機器・試薬 32 (2): 263 ~ 267, 2009.
血清抗p53抗体	橋本 礼輔,他: 医学と薬学 75 (8): 955 ~ 964, 2018.
血清 HER2タンパク	Luftner D, et al: The International Journal of Biological Markers 19 (3): 175 ~ 182, 2004.
可溶性メンテリン関連ペプチド	中町 衛,他: 医学と薬学 65 (2): 261 ~ 267, 2011.
CCR4タンパク(FCM)	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会: 日本臨床検査標準協議会会報 18 (2): 69 ~ 107, 2003.

## ウイルス感染症検査

HBVゲノタイプ	田中 靖人,他: 臨床病理 57 (1): 42 ~ 47, 2009.
HBV DNA定量(IU)	菅原 昌章,他: 医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HBs抗原(HQ)	戸来 孝,他: 医学と薬学 72 (9): 1569 ~ 1577, 2015.
HBs抗体(CLIA)	出口 松夫,他: 医学と薬学 74 (9): 1137 ~ 1144, 2017.
HBs抗体	蒲池 正次,他: 臨床検査機器・試薬 17 (6): 1173 ~ 1180, 1994.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	Inoue T, et al: J Hepatol 75 (2): 302 ~ 310, 2021.
HBc抗体(IgG)	八橋 弘,他: 医学と薬学 66 (6): 1075 ~ 1081, 2011.
IgM-HBc抗体	熊谷 保之: 日本臨床検査自動化学会誌 25 (1): 70 ~ 74, 2000.
HBc抗体	森藤 隆夫,他: 臨床病理 特(67): 101 ~ 108, 1986.
HA抗体	矢野 公土,他: 医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
IgM-HA抗体	矢野 公土,他: 医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
HCV抗体(第3世代)	林田 栄二,他: 医学と薬学 58 (6): 881 ~ 885, 2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川 瞳,他: 医学と薬学70 (3): 633 ~ 641, 2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al: Journal of Clinical Microbiology 35 (1): 201 ~ 207, 1997.
HCV RNA定量	菅原 昌章,他: 医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原 和子,他: 日本臨床検査自動化学会誌 36 (2): 267 ~ 274, 2011.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野 四郎,他: 医学と薬学 53 (4): 461 ~ 469, 2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤 裕孝,他: 感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤 裕孝,他: 感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19DNA 定性	Sevall JS: Molecular and Cellular Probes 4: 237 ~ 246, 1990.
ヒトパルボウイルスDNA(16型,18型,その他ハイルスクグループ)	三浦 俊昭,他: 医学と薬学 69 (1): 157 ~ 162, 2013.
ヒトパルボウイルスDNA(ハイルスクグループ)	Clavel C et al: Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
ヒトパルボウイルスDNA(ハイルスクグループ)(LBC)	Ko. V et al: Cancer Cytopathology 108 (6): 468 ~ 474, 2006.
ヒトパルボウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎 聡,他: 臨床病理 60 (7): 621 ~ 626, 2012.
ヒトパルボウイルスDNA(ローリスクグループ)	Clavel C et al: Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
アデノウイルス	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
アデノウイルスDNA 定性	Hierholzer JC et al: Journal of Clinical Microbiology 31 (7): 1886 ~ 1891, 1993.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名 尚,他: 感染症学雑誌 61 (9): 1030 ~ 1037, 1987.
単純ヘルペスウイルス	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
単純ヘルペスウイルス IgG	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス IgM	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス DNA 定性	Cao M et al: J Invest Dermatol 82: 391 ~ 392, 1989.
単純ヘルペスウイルス DNA定量	Stevens J: 実験医学 15 (7S): 728 ~ 733, 1997.
単純ヘルペスウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	林 伸英,他: 生物試料分析 36 (3): 229 ~ 234, 2013.



## 検査項目

## 測定参考文献

水痘・带状疱疹ウイルス抗原	新村 真人,他:感染症学雑誌 64 (2): 195 ~ 201, 1990.
水痘・带状疱疹ウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
水痘・带状疱疹ウイルス IgG	吉田 晃,他:臨床とウイルス 13 (4): 490 ~ 496, 1985.
水痘・带状疱疹ウイルス IgM	平野 勝,他:医学と薬学 42 (4): 641 ~ 645, 1999.
水痘・带状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤 良,他:日本臨床 50 (特別号): 160 ~ 165, 1992.
水痘・带状疱疹ウイルスDNA定量	Kimura H et al : The Journal of Infectious Diseases 178 : 310 ~ 317, 1998.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C10,C11)	浅井 隆善,他:今日の移植 7 (6): 553 ~ 559, 1994.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	権藤 久司,他:臨床血液 34 (11): 1438 ~ 1444, 1993.
サイトメガロウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
サイトメガロウイルス IgG	熊田 洋高,他:医学と薬学 72 (6): 1087 ~ 1094, 2015.
サイトメガロウイルス IgM	熊田 洋高,他:医学と薬学 72 (6): 1087 ~ 1094, 2015.
サイトメガロウイルスDNA 定性	Olive DM et al : Journal of Clinical Microbiology 27 (6): 1238 ~ 1242, 1989.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y, et al : Nat Methods 4 (3): 257 ~ 262, 2007.
サイトメガロウイルス核酸定量	森 沙耶香,他:医学と薬学 77 (8): 1181 ~ 1188, 2020.
EBウイルスDNA 定量	Kimura H, et al : J Clin Microbiol 37 (1): 132 ~ 136, 1999.
EBウイルスDNA(クロナリティ)	Raab-Traub N et al : Cell 47 : 883 ~ 889, 1986.
EBウイルス 抗VCA IgG(EIA)	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2): 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgG(FA)	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35): 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgM(EIA)	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2): 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgM(FA)	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35): 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35): 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2): 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35): 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35): 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35): 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2): 363 ~ 369, 2007.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤 一博,他:蛋白質核酸酵素 35 (17): 3041 ~ 3047, 1990.
ヒトヘルペスウイルス 6型DNA定量	Tanaka N et al : Bone Marrow Transplantation 26 : 1193 ~ 1197, 2000.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al : Archives of Virology 136 : 183 ~ 190, 1994.
エンテロウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エンテロウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群5型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群2型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群3型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群4型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群4型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群5型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群5型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群6型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群6型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 7型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 11型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 12型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善): 260 ~ 274, 1973.



# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAr株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81～97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
風疹ウイルス IgM	佐藤 俊則,他：臨床とウイルス 23 (1)：44～47, 1995.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
インフルエンザウイルス B型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
インフルエンザウイルス B型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
パラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
RSウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
RSウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
ムンプスウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ムンプスウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
ムンプスウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	尾崎 隆男,他：臨床とウイルス 50 (3)：129～133, 2022.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
HTLV-I (ATLV) 抗体(CLEIA)	植柳 泰,他：医学と薬学 73 (8)：1031～1035, 2016.
HTLV-1抗体(ラインプロット法)	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5 (1)：45～49, 1998.
HTLV-1核酸検出 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-I (ATLV) プロウイルスDNA(クロナリティ)	渡辺 俊樹,他：Medical Immunology 16 (6)：785～791, 1988.
HIV-1RNA定量	目崎 和久,他：医学と薬学 73 (6)：705～709, 2016.
HIV-1/2特異抗体	Kondo M, et al：PLoS ONE 13 (10) e0198924：1～10, 2018.
HIV抗原・抗体	桜庭 尚哉,他：医学と薬学 65 (5)：663～672, 2011.
ノロウイルス抗原	田中 智之：医学と薬学 61 (1)：93～98, 2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41 (4)：1548～1557, 2003.

## 感染症(非ウイルス)関連検査

クラミジアトラコマトリス IgA	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリス IgG	梶原 祥子,他：医学と薬学 37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリスDNA	熊本 悦明,他：医学と薬学 66 (6)：1007～1014, 2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下 修行,他：小児科診療 71 (1)：95～99, 2008
抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO)	加野 象次郎：日本臨牀 57 (増刊号3)：107～116, 1999.
エンドトキシン定量	土谷 正和,他：日本細菌学雑誌 45 (6)：903～911, 1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
百日咳抗体(EIA)	岡田 賢司：医学と薬学 65 (4)：531～536, 2011.
抗ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	乾 正幸,他：日本ヘリコバクター学会誌 19 (1)：33～42, 2017.
便中ヘリコバクターピロリ抗原	朝日 佳代子,他：医学と薬学 57 (2)：253～260, 2007.
梅毒定性RPR(LA)	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定量RPR(LA)	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.

検査項目	測定参考文献
梅毒定量RPR法	福岡 良男: 新訂臨床検査講座23 臨床免疫学(医歯薬出版): 361 ~ 364, 1997.
梅毒定性TP抗体(LA)	桜庭 尚哉,他: 医学と薬学 64 (5): 751 ~ 758, 2010.
梅毒定量TP抗体(LA)	桜庭 尚哉,他: 医学と薬学 64 (5): 751 ~ 758, 2010.
梅毒定量TPHA	出口 松夫,他: 感染症学雑誌 68 (10): 1271 ~ 1277, 1994.
FTA-ABS	山屋 駿一: 微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版: H83 ~ H91, 1995.
寒冷凝集反応	原島 典子,他: 衛生検査 27 (1): 67 ~ 71, 1978.
マイコプラズマニューモニエ(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
マイコプラズマニューモニエ(PA)	大関 トシイ,他: 自治医科大学臨床検査技師年報 12: 62 ~ 64, 1988.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカトー IgG	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカトー IgM	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
クリプトコックス・ネオフォルマンス抗原	篠田 孝子,他: 真菌と真菌症 30 (3): 211 ~ 221, 1989.
カンジダマンナン抗原	新崎 晃弘,他: 臨床検査機器・試薬 23 (3): 197 ~ 203, 2000.
アスペルギルス抗原	見手倉 久治,他: 医学と薬学 42 (1): 207 ~ 212, 1999.
$\beta$ -D-グルカン	吉田 耕一郎,他: 医学と薬学 67 (6): 895 ~ 902, 2012.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅 修司,他: 日本呼吸器学会誌 39 (1): 7 ~ 11, 2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井 喜世子,他: 臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井 喜世子,他: 臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
結核菌特異的IFN- $\gamma$	T. Meier et al : Eur. J. Clin. Microbiol. Infect. Dis. 24 (8): 529 ~ 536, 2005.
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	Kitada S, et al : AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177 (1): 793~797, 2008.
<b>自己免疫関連検査</b>	
抗核抗体(ANA)	東條 毅: 臨床検査 30 (7): 687 ~ 692, 1986.
抗DNA抗体(RIA)	鈴木 王洋,他: 臨床免疫 25 (8): 1096 ~ 1102, 1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内 記代,他: 日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他: 医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内 記代,他: 日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他: 医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗Sm抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	西山 進,他: 医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗RNP抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗RNP抗体(CLEIA)	西山 進,他: 医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	西山 進,他: 医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-B/La抗体(CLEIA)	西山 進,他: 医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗Scl-70抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	松下 雅和,他: 医学と薬学 70 (1): 109 ~ 117, 2013.
抗RNAポリメラーゼIII抗体	桑名 正隆: リウマチ科 40 (3): 239 ~ 245, 2008.
抗セントロメア抗体	小島 和夫,他: 医学と薬学 69 (4): 677 ~ 687, 2013.
抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	西海 正彦: 臨床検査機器・試薬 13 (4): 835 ~ 838, 1990.
抗Jo-1抗体(CLEIA)	松下 雅和,他: 医学と薬学 70 (1): 109 ~ 117, 2013.
抗ARS抗体	山田 祐介,他: リウマチ科 45 (2): 133 ~ 138, 2011.
抗MDA5抗体	Sato S, et al : PLoS One. 11 (4): e0154285, 2016.
抗Mi-2抗体	Fujimoto M, et al : J Dermatol Sci. 84 (3): 272 ~ 281, 2016.
抗TIF1- $\gamma$ 抗体	Fujimoto M, et al : J Dermatol Sci. 84 (3): 272 ~ 281, 2016.
リウマチ因子(RF) 定量	吉野谷 定美: 日本臨床 57 (増刊号3): 386 ~ 389, 1999.
IgG型リウマチ因子	中園 清: 医学と薬学 45 (3): 481 ~ 486, 2001.
抗ガラクトース欠損IgG抗体	平山 吉郎,他: 医学と薬学 42 (5): 817 ~ 828, 1999.
抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	玉井 慎美,他: 医学と薬学 64 (5): 779 ~ 783, 2010.
抗ミトコンドリア抗体	山内 進: 臨床免疫 7 (7): 825 ~ 830, 1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野 瑞木,他: 医学と薬学 67 (3): 485 ~ 495, 2012.
抗平滑筋抗体	山内 進: 臨床免疫 7 (7): 825 ~ 830, 1975.
抗胃壁細胞抗体	山内 進: 衛生検査 22 (12): 1085 ~ 1089, 1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A.Gomez et al : Clinical Chemistry 51 (1): 232 ~ 235, 2005.
ロイシンリッチ $\alpha$ 2グリコプロテイン(LRG)	高山 茂雄,他: 医学と薬学 76 (12): 1769 ~ 1780, 2019.
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)	矢野 美沙紀,他: 医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
抗サイログロブリン抗体	矢野 美沙紀,他: 医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
甲状腺刺激抗体(TSAb)	保科 元気,他: 医学と薬学 79 (8): 1079 ~ 1086, 2022.
TSHレセプター抗体(定量)	小森 明日香,他: 医学と薬学 46 (4): 563 ~ 570, 2001.
TSHレセプター抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他: 医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.

# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

抗GAD抗体	及川 洋一,他:医学と薬学 72 (9): 1551 ~ 1560, 2015.
抗IA-2抗体	川崎 英二,他:医学と薬学 66 (2): 345 ~ 352, 2011.
亜鉛トランスporter 8 (ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al: Acta Diabetol 51 (3): 429 ~ 434, 2014.
インスリン抗体	内湯 安子,他:医学と薬学 65 (4): 525 ~ 530, 2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田 光照,他:ホルモンと臨床 48 (1): 89 ~ 93, 2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 70 (2): 421 ~ 428, 2013.
抗デスメグレイン1抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗デスメグレイン3抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田 かおり,他:医学と薬学 70 (5・6): 989 ~ 1000, 2013.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	白井 丈一,他:医学と薬学 68 (4): 697 ~ 704, 2012.
精子不動態抗体	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11): N209 ~ N212, 1990.
精子不動態抗体(SI50)	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11): N209 ~ N212, 1990.
ループスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	後藤 守孝,他:Modern Physician 15 (12): 1545 ~ 1550, 1995.
ループスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5): 621 ~ 626, 2016.
ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5): 621 ~ 626, 2016.
抗カルジオリピン $\beta_2$ グリコプロテイン I 複合体抗体(抗CL $\cdot$ $\beta_2$ GPI抗体)	野島 順三,他:医学と薬学 32 (6): 1315 ~ 1320, 1994.
抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgG抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4): 447 ~ 459, 2021.
抗 $\beta_2$ グリコプロテイン I IgM抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4): 447 ~ 459, 2021.
抗カルジオリピンIgG抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4): 447 ~ 459, 2021.
抗カルジオリピンIgM抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4): 447 ~ 459, 2021.
抗血小板抗体	柴田 洋一:輸血学(中外医学社): 457 ~ 470, 1978.
PAIgG(血小板関連IgG)	林 悟,他:臨床病理 32 (11): 1253 ~ 1257, 1984.
HIT抗体(血小板第4因子 $\cdot$ ヘパリン複合体抗体)	阪田 敏幸:医学と薬学 68 (3): 547 ~ 555, 2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5): 823 ~ 828, 2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5): 823 ~ 828, 2011.
抗LKM-1抗体	竹村 真理,他:医学と薬学 46 (1): 109 ~ 114, 2001.
免疫複合体(モノクローナルRF)	森 勝志,他:医学と薬学 27 (2): 347 ~ 354, 1992.
抗アクアポリン4抗体	高橋 利幸,他:医学と薬学 73 (10): 1297 ~ 1300, 2016.
抗表皮成分自己抗体(直接法)	川生 明:病理と臨床 6 (増): 10 ~ 13, 1988.

## 免疫血液学的検査

ABO式血液型	日本臨床衛生検査技師会:輸血・移植検査技術教本(丸善出版): 2, 4 ~ 13, 22 ~ 25, 30 ~ 35, 60 ~ 63, 152 ~ 166, 175, 2016.
Rh(D因子)式血液型	日本臨床衛生検査技師会:輸血・移植検査技術教本(丸善出版): 13 ~ 15, 22 ~ 25, 30 ~ 35, 60 ~ 63, 167 ~ 169, 175, 2016.
Rh-Hr式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1): 215 ~ 219, 1996.
血液型不適合妊娠	支倉 逸人:日本臨牀 26 (2): 262 ~ 272, 1968.
直接クームス試験	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版): 948 ~ 954, 2005.
間接クームス試験	金井 正光,他:臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版): 948 ~ 954, 2005.
不規則性抗体(抗体同定 $\cdot$ 抗体価測定)	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9): 700, 1993.

## 免疫グロブリン

IgG	櫻林 郁之介,他:臨床免疫 18 (7): 595 ~ 603, 1986. 望月 照次,他:Medical Technology 16 (8): 745 ~ 750, 1988.
IgA	櫻林 郁之介,他:臨床免疫 18 (7): 595 ~ 603, 1986. 望月 照次,他:Medical Technology 16 (8): 745 ~ 750, 1988.
IgM	櫻林 郁之介,他:臨床免疫 18 (7): 595 ~ 603, 1986. 望月 照次,他:Medical Technology 16 (8): 745 ~ 750, 1988.
IgGサブクラス分画(TIA)	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4): 463 ~ 470, 2017.
IgG2	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4): 463 ~ 470, 2017.
IgG4	松木 友里,他:医学と薬学 75 (7): 849 ~ 858, 2018.
免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)(DIRA)	McCudden C, et al: Clin Chem Lab Med 54 (6): 1095 ~ 1104, 2016.
免疫グロブリン遊離L鎖 $\kappa$ / $\lambda$ 比(フリーライトチェーン)	守田 由香,他:医学と薬学 74 (8): 945 ~ 950, 2017.
尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版: 8 ~ 26, 1977.
オリゴクローナルバンド	佐々木 征治,他:最新電気泳動実験法(医歯薬出版): 61 ~ 74, 1999.
クリオグロブリン定性	青木 紀生,他:Medical Technology 6 (8): 619 ~ 624, 1978.

## 補体および関連物質

血清補体価	中藤 聡子,他:臨床検査機器 $\cdot$ 試薬 19 (4): 609 ~ 613, 1996.
C3	山岸 安子:Medical Technology 16 (12): 1141 ~ 1149, 1988.
C4	山岸 安子:Medical Technology 16 (12): 1141 ~ 1149, 1988.
C1q	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒター活性)	Dick W et al: Immun Infekt 13: 113 ~ 118, 1985.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 血漿蛋白

ブレアルブミン	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1): 84 ~ 88, 2007.
$\alpha_1$ -マイクログロブリン	中野 卓,他:臨床検査機器・試薬 11 (3): 469 ~ 476, 1988.
$\alpha_1$ アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
$\alpha_1$ アシドグリコプロテイン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1): 84 ~ 88, 2007.
$\alpha_2$ -マクログロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53): 71 ~ 81, 1983.
トランスフェリン	伊藤 忠一:検査と技術 16 (7): 593 ~ 598, 1988.
尿中トランスフェリン	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 687 ~ 690, 2000.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 687 ~ 690, 2000.
$\beta_2$ -マイクログロブリン	伊藤 喜久:日本臨牀 62 (増刊号11): 255 ~ 257, 2004.
C反応性蛋白(CRP)定量	大谷 英樹:臨床検査 32 (2): 173 ~ 177, 1988. 西田 陽:北里医学 16 (6): 393 ~ 401, 1986.
ベントラキシン3(PTX3)	Inoue et al: Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27 (1): 161 ~ 167, 2007.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳 広美,他:生物物理化学 37 (1): 19 ~ 23, 1993.
ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5): 1243 ~ 1253, 1997.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田 孝,他:医療と検査機器・試薬 33 (5): 629 ~ 632, 2010.
心室筋ミオシン軽鎖 I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52 (3): 443 ~ 449, 2004.
心筋トロポニンT	戸田 圭三,他:医学と薬学 62 (2): 331 ~ 340, 2009.
フェリチン	高橋 和男,他:臨床検査機器・試薬 23 (2): 131 ~ 137, 2000.
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(CLEIA)	森 さゆり,他:医療と検査機器・試薬 41 (6): 615 ~ 620, 2018.
尿中NGAL	Cullen MR, et al: Ann Clin Biochem 49 (2): 190 ~ 193, 2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al: The New England Journal of Medicine 325 (10): 669 ~ 674, 1991.
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高 好博:医学と薬学 70 (2): 357 ~ 365, 2013.
I型コラーゲンC末端 テロペプチド(I CTP)	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42 (12): 1189 ~ 1193, 1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGI)	柴田 宏,他:臨床病理 63 (1): 72 ~ 77, 2015.
オートタキシン	宇佐美 陽子,他:医学検査 68 (1): 99 ~ 104, 2019.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)(CLIA)	北原 志穂,他:医学と薬学 72 (9): 1579 ~ 1590, 2015.
尿中IV型コラーゲン	小幡 賢一,他:臨床検査機器・試薬 18 (3): 439 ~ 444, 1995.
IV型コラーゲン・7S(CLEIA)	大高木 結媛,他:医学と薬学 77 (5): 785 ~ 792, 2020.

### 血漿蛋白

デオキシビリジノリン	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7): 747 ~ 757, 1996.
デオキシビリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7): 747 ~ 757, 1996.
KL-6	諏訪部 章:検査と技術 38 (10): 926 ~ 930, 2010.
プロカルシトニン	小林 一三,他:医学と薬学 73 (4): 459 ~ 467, 2016.

### 免疫血清学(その他)

$\beta$ -アミロイド1-42/1-40比	Maria Joã Leitã, et al: Alzheimers Res Ther 11 (1): 91, 2019.
リン酸化タウ	Maria Joã Leitã, et al: Alzheimers Res Ther 11 (1): 91, 2019.
タウ蛋白	湯原 麻子,他:医学と薬学 79 (1): 91 ~ 97, 2022.
コクリン-トモプロテイン(CTP)	池園 哲郎: Otology Japan 22 (5): 911 ~ 917, 2012.

### サイトカイン

可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	林 圭織,他:医学と薬学 75 (12): 1611 ~ 1620, 2018.
TARC(Th2ケモカイン)	山脇 一恋,他:医療と検査機器・試薬 44 (5): 428 ~ 433, 2021.
IL-4 (インターロイキン-4)(高感度)	Kricka LJ: Clinical Chemistry 37 (9): 1472 ~ 1481, 1991.
IL-6 (インターロイキン-6)	竹村 正男,他:医学と薬学 36 (5): 1071 ~ 1076, 1996.
IL-10 (インターロイキン-10)	Groote DD et al: Journal of Immunological Methods 177: 225 ~ 234, 1994.

### アレルギー検査

IgE(非特異的IgE)(CLEIA)	富岡 玖夫:ラボトピックス 9 (2): 1 ~ 2, 1988.
IgE(非特異的IgE)(FEIA)	岩崎 栄作,他:小児科臨床 50 (1): 145 ~ 151, 1997.
特異的IgE(MAST36アレルギー)	中川 武正,他:アレルギーの臨床 26 (3): 238 ~ 242, 2006.
特異的IgE(MAST48mix)	澤崎 健:アレルギーの臨床 38 (12): 1145 ~ 1151, 2018.
特異的IgE(View アレルギー 39)	張田 聖恵:医学と薬学 73 (6): 721 ~ 726, 2016.
特異的IgE(ミックスアレルギー)	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(シングルアレルギー)(CLEIA)	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(C-PAC16アレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(C-PAC5アレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(マルチアレルゲン)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.



# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

特異的IgE(シングルアレルゲン)(FEIA)	奥田 勲,他: 医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来)	奥田 勲,他: 医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.

## 細胞性免疫検査

CD34定量	Chen CH et al : Journal of Hematotherapy 3 : 3 ~ 13, 1994.
高感度PNH型血球検査	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会: 日本臨床検査標準協議会誌 18 (2) : 69 ~ 85, 2003.
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 100 : 534 ~ 540, 1993.
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al : American Journal of Clinical Pathology 100 : 534 ~ 540, 1993.
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL : CYTOMETRY 22 : 264 ~ 281, 1995.
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL : CYTOMETRY 22 : 264 ~ 281, 1995.
PHAによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他: 臨床検査 23 (7) : 660 ~ 667, 1979.
Con-Aによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他: 臨床検査 23 (7) : 660 ~ 667, 1979.
薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)	北見 啓之,他: 臨床免疫 15 (9) : 727 ~ 736, 1983.
MLC(リンパ球混合培養)	笹月 健彦,他: 移植 14 (2) : 93 ~ 113, 1979.
T細胞百分率 B細胞百分率	Wauwe JV et al : Immunology 44 : 865 ~ 871, 1981.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgG	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgA	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgM	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgD	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) K	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) L	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	Ip SH et al : Clinical Chemistry 28 (9) : 1905 ~ 1909, 1982.
IgG-FcR <sup>+</sup> ・T細胞百分率	Perussia B et al : The Journal of Immunology 130 (5) : 2133 ~ 2141, 1983.
血小板表面マーカー検査 CD41	野村 昌作,他: 臨床免疫 19 (8) : 717 ~ 724, 1987.
血小板表面マーカー検査 CD42b	野村 昌作,他: 臨床免疫 19 (8) : 717 ~ 724, 1987.
Th1/Th2 (IFN- $\gamma$ x IL-4/CD4)	渋谷 和子: 細胞工学 17 (5) : 807 ~ 816, 1998.
NK細胞活性	康 浩一,他: Medical Technology 21 (7) : 574 ~ 580, 1993.

## 抗原特異的CTL

サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*0201)	馬場 俊之,他: 血液腫瘍科 45 (1) : 22 ~ 27, 2002.
サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*2402)	馬場 俊之,他: 血液腫瘍科 45 (1) : 22 ~ 27, 2002.

## 先天異常の染色体検査

染色体 G-Banding	Seabright M : The Lancet 2 : 971 ~ 972, 1971.
染色体 C-Banding	Sumner AT et al : Exp Cell Res 75 : 304 ~ 306, 1972.
染色体 Q-Banding	Caspersson T et al : Hereditas 67 : 89 ~ 102, 1971.
染色体 高精度分染法	Ikeuchi T et al : Proc Japan Acad 55 (1) : 15 ~ 18, 1979.
染色体SKY(先天異常)	Veldman T et al : Nature Genetics 15 : 406 ~ 410, 1997.
脆弱X染色体(脆弱X症候群)	Sutherland GR : Science 197 : 265 ~ 266, 1977.
1染色体(1p36欠失症候群)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
5染色体(ソトス症候群)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
7染色体(ウイリアムス症候群)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
13染色体	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(ブラダーウイリ症候群)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
15染色体(アンジェルマン症候群)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
17染色体(ミラーディカー症候群)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
18染色体	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
21染色体	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
22染色体(22q11欠失)(CATCH22) conotruncal anomaly face 症候群velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X染色体(ステロイドサルファターゼ遺伝子STS)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)	David T. Miller, et al : Am J Hum Genet. 86 (5) : 749 ~ 764, 2010.

## 白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

血液疾患染色体 G-Banding	Seabright M: The Lancet 2 971 ~ 972, 1971.
染色体SKY(血液疾患)	Veldman T et al : Nature Genetics 15 : 406 ~ 410, 1997.
TCF3-PBX1 t(1;19)転座	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
CKS1B 1q21 増幅	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.
ALK 2p23転座	稲澤 謙治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社) : 90 ~ 95, 1997.

## 検査項目

## 測定参考文献

GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BCL6 3q27転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-FGFR3 t(4;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
FIP1L1-PDGFR4 del(4) 長腕欠失(4q12欠失)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
CSF1R del(5)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
EGR1 del(5)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
PDGFRB 5q32転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
8染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
MYC 8q24転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-MYC t(8;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
RUNX1-RUNX1T1(AML1-MTG8) t(8;21)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
FGFR1 8p11.2転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
KMT2A(MLL) 11q23.3転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
NUP98 11p15転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
ATM del(11)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
12染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
ETV6-RUNX1(TEL-AML1) t(12;21)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
D13S319 del(13)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-BCL2 t(14;18)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-MAF t(14;16)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
PML-RARA t(15;17)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
TP53 del(17)短腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BCL2 18q21転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
del(20)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.

## 固形腫瘍の染色体検査

del(1)短腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
MYCN 2p24増幅	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
del(19)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
EWSR1 22q12転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコール 阿部達生監修 (秀潤社): 90 ~ 95, 1997.

## 造血器腫瘍遺伝子検査

FLT3/ITD 変異解析	Kiyoi. H, et al : Leukemia 11 : 1147 ~ 1452, 1997.
FLT3変異解析ITD/TKD	Murphy KM, et al : J Mol Diagn 5 (2) : 96 ~ 102, 2003.
NPM1変異解析	Gorello P, et al : Leukemia, 20 (6) : 1103 ~ 1108, 2006.
KIT シーケンス解析(白血病)	E Barragan, et al : Hematologica 89 (8) : 920 ~ 925, 2004.
JAK2V617F遺伝子変異解析	桐戸 敬太,他: 臨床血液 59 (6) : 669 ~ 674, 2018.
MPN遺伝子変異解析	Tsunedomi R, et al : Cancer Science 108 (7) : 1504 ~ 1509, 2017.
EZH2遺伝子変異解析	Heid CA, et al : Genome Res. 6 (10) : 986 ~ 994, 1996.
白血病キメラスクリーニング(定量)	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
WT1 mRNA定量	宮脇 修一,他: 臨床血液 46 (12) : 1279 ~ 1287, 2005.
Major BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
Major BCR-ABL1 mRNA(IS)	Nakamae H, et al : Int J Hematol 102 (3) : 304 ~ 311, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA(%)	Nakamae H, et al : Int J Hematol 102 (3) : 304 ~ 311, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
Major BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
minor BCR-ABL1 mRNA(%)	J Gabert, et al : Leukemia 17 (12) : 2318 ~ 2357, 2003.
minor BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
minor BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
micro BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
minor BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray, et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
TCF3-PBX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
TCF3-PBX1 mRNA定性	Hunger SP et al : Blood 77 (4) : 687 ~ 693, 1991.
PML-RARAmRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
PML-RARAmRNA定性	Borrow J et al : Science 249 : 1577 ~ 1580, 1990.

## 検査項目

## 測定参考文献

CBFB-MYH11mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
CBFB-MYH11mRNA定性	Claxton DF et al : Blood 83 (7) : 1750 ~ 1756, 1994.
RUNX1-RUNX1T1mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
RUNX1-RUNX1T1mRNA定性	Miyoshi H et al : Proc Natl Acad Sci USA 88 (23) : 10431 ~ 10434, 1991.
RUNX1-MECOMmRNA定性	Mitani K et al : The EMBO Journal 13 (3) : 504 ~ 510, 1994.
ETV6-RUNX1mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
ETV6-RUNX1mRNA定性	Shurtleff SA et al : Leukemia 9 (12) : 1985 ~ 1989, 1995.
KMT2A-AFF1mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-AFF1mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-AFDNmRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-AFDNmRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-MLLT3mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-MLLT3mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-MLLT1mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-MLLT1mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
NUP98-HOXA9mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
STIL-TAL1mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
DEK-NUP214mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
DEK-NUP214mRNA定性	Soekarman D et al : Blood 79 (11) : 2990 ~ 2997, 1992.

## 免疫関連遺伝子再構成検査

T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ2再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター γ鎖Jγ再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター δ鎖Jδ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンH鎖J <sub>H</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンH鎖C <sub>H</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖J <sub>K</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C <sub>K</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C <sub>λ</sub> 再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.

## 悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

BRAF exon15 V600E(SEQ)	日本臨床腫瘍学会 : 大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイドンス 第1版 2008.
EGFR変異解析 v2.0	Benlloch S,et al : PLoS One 9 (2) : e89518, 2014.
EGFR変異解析 v2.0 (血漿)	Benlloch S,et al : PLoS One 9 (2) : e89518, 2014.
EGFR遺伝子 変異解析(Scorpion-ARMS法)	Whitcombe,et al : Nature Biotech 17 : 804 ~ 807, 1999.
ROS1融合遺伝子定性	日本肺癌学会 : 肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
ROS1融合遺伝子定性(FFPE)	日本肺癌学会 : 肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
EML4-ALK 融合遺伝子定性	Horn L, et al : Journal of Clinical Oncology 27 (26) : 4232 ~ 4235, 2009.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FFPE)	Arita H,et al : Brain Tumor Pathol 32 (1) : 22 ~ 30, 2015.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FF)	Arita H,et al : Brain Tumor Pathol 32 (1) : 22 ~ 30, 2015.
PIK3CA遺伝子変異解析(SEQ)	日本臨床腫瘍学会 : 大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイドンス 第1版 2008.
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	Alessandra Maleddu, et al : Journal of Translational Medicine 9 : 75, 2011.
RAS・BRAF遺伝子変異解析	Bando H, et al : BMC Cancer 13 : 405, 2013.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FFPE)	Buhand O, et al : J Clin Oncol. 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)	Buhand O, et al : J Clin Oncol. 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.
オンコマインDxTTマルチ6遺伝子 CDx(FFPE)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチ6遺伝子 CDx(FF)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチ6遺伝子 研究用46遺伝子(FFPE)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチ6遺伝子 研究用46遺伝子(FF)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(3ヵ月以下)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(3 ~ 12ヵ月)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(12 ~ 24ヵ月)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(FF)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3ヵ月以下)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3 ~ 12ヵ月)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(12 ~ 24ヵ月)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(FF)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.

## 遺伝学的検査

RET遺伝子変異解析(甲状腺髄様癌)	Kihara M, et al : Auris Nasus Larynx 43 (5) : 551 ~ 555, 2016.
RETシングルサイト解析	Kihara M, et al : Auris Nasus Larynx 43 (5) : 551 ~ 555, 2016.
SNRPN遺伝子解析(メチレーションPCR)フラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群	Kenjiro K, et al : Am J Med Genet. 73 (3) : 308 ~ 313, 1997.



検査項目	測定参考文献
PRRT2遺伝子変異解析	Ono S, et al : J Hum Genet 57 (5) : 338 ~ 341, 2012.
TTR遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	Booth DR, et al : Circulation. 91 (4) : 962 ~ 967, 1995.
MECP2遺伝子(exon3,4)変異解析	Thierry Bienvenu et al : Human Molecular Genetics9 (9) : 1377 ~ 1384 , 2000.
ZEB2遺伝子解析(モワット・ウィルソン症候群)	Yamada Y, et al : Am J Med Genet A. 164A(8) : 1899 ~ 1908, 2014.
TACSTD2遺伝子解析(角膜ジストロフィー)	Nagahara Y, et al : Hum Genome Var. 6 : 33, 2019.
ジストロフィンDNA	Lai KKS et al : Clin Biochemistry 39 (4) : 367 ~ 372, 2006.
福山型筋ジストロフィー DNA 挿入	Watanabe M et al : American Journal of Medical Genetics 138A : 344 ~ 348, 2005.
青髄小脳変性症 遺伝子解析	石毛 崇之,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 39 (2) : 250 ~ 256, 2014.
先天性QT延長症候群遺伝子解析	Fujiki R, et al : J Mol Diagn/pii : S1525-1578 (17)30554-8 : Jun 25, 2018.
MEFV遺伝子解析(家族性地中海熱)	The International FMF Consortium Cell. 90 (4) : 797 ~ 807, 1997.
HTT遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al : Nature 352 : 77 ~ 79, 1991.
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al : Nature 352 : 77 ~ 79, 1991.
Y染色体微小欠失 (AZF欠失)	Masashi Iijima, et al : Int J Urol. 21 (9) : 910 ~ 916, 2014.
<b>薬剤応答遺伝子検査</b>	
IL28B SNPs 解析	Ito K, et al : J Clin Microbiol 49 : 1853 ~ 1860, 2011.
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP2C19遺伝子多型解析	平塚 真弘 : 薬学雑誌 122 (7) : 451 ~ 463, 2002.
UGT1A1遺伝子多型解析	森 篤雄,他 : Bio Clinica 23 (7) : 643 ~ 648, 2008.
NUDT15遺伝子codon 139多型解析	Moriyama T, et al : Nat Genet, 48 (4) : 367 ~ 373, 2016.
<b>移植関連遺伝子検査</b>	
HLA DNAタイピング(NGS-SBT法)	中條 聖子 : 臨床病理レビュー 164 : 132 ~ 139, 2020.
HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-DRB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DPB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	日本組織適合性学会 認定制度委員会 : QCWS参考プロトコル 抗体検査(LABScreen)平成29年度版.
キメリズム解析移植前レシビエント (PCR)	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
キメリズム解析移植前ドナー (PCR)	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
キメリズム解析移植後(PCR)	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
<b>尿一般検査</b>	
尿一般検査	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 161 ~ 204, 2005.
尿蛋白定量	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 217, 2005.
尿糖定量	後藤 由夫 : 日本臨牀 53 (増刊号1) : 133 ~ 137, 1995.
尿沈渣	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 205 ~ 219, 2005.
<b>糞便検査</b>	
虫卵(塗抹)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 1088, 2005.
便中ヘモグロビン及びびトランスフェリン	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定性(金コロイド法)	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定量(金コロイド法)	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
消化状態	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 179 ~ 182, 1993.
<b>一般検査(その他)</b>	
蛋白定量(髄液)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 257, 2005.
細胞数(髄液)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 254, 2005.
蛋白定量(胸水)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 237, 2005.
比重(胸水)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 237, 2005.
蛋白定量(腹水)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 237, 2005.
比重(腹水)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 237, 2005.
精子検査	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 改訂第32版(金原出版) : 231, 2005.



# 参考文献一覧

## 検査項目

## 測定参考文献

### 微生物学的検査

一般細菌 (塗抹鏡検、培養同定、嫌気性培養、感受性検査、尿中生菌数定量、目的菌、環境検査)	Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.1. Williams & Wilkins, 1984. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.2. Williams & Wilkins, 1986. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.3. Williams & Wilkins, 1989. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.4. Williams & Wilkins, 1989. 吉田 真一(編集), 柳 雄介(編集), 吉開 泰信(編集): 戸田新細菌学 第26版. 南山堂, 1974. 小栗 豊子, 編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011. 沢塚 和久, 編 堀井俊伸, 監修 MICROBIAL TESTING NAVI 微生物検査ナビ 株式会社キタ・メディア, 栄研化学株式会社, 2013 細菌検査 塗抹・培養 ガイドライン 初版 社団法人日本衛生検査所協会, 2010. Clinical Microbiology Procedures Handbook-4th edition, 2016. 抗菌薬感受性検査のための標準法-M100-S26 第26版 CLSI, 2016. 嫌気性菌検査ガイドライン 2012 初版. 臨床微生物学会, 2012.
ヘリコバクター培養同定・感受性検査	後藤 陽一郎, 他: 検査と技術 21 (13): 1061 ~ 1066, 1993. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定委員会, ヘリコバクターピロリ委員会: 日本化学療法学会誌 50 (1): 54 ~ 58, 2002.
CDトキシシン(GDH)	加藤 はる: 臨床検査 47 (2): 169 ~ 174, 2003. 沢辺 悦子, 他: 日本臨床微生物学会雑誌 13 (1): 1 ~ 7, 2003. 富田 文: 日経メディカル 15 : 28 ~ 29, 2007.
CDトキシシンB遺伝子 定性	松浦 成美, 他: 医学検査 67 (4): 451 ~ 455, 2018.
抗酸菌(塗抹、分離培養、結核菌群抗原、薬剤感受性)	日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会: 抗酸菌ガイド2016. 小栗 豊子, 編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011.
抗酸菌同定(質量分析)	大楠 清文, 他: 抗酸菌検査ガイド 2016 : 60 ~ 65, 2016.
結核菌群核酸同定 (TRC)	田村 卓, 他: 日本臨床微生物学雑誌 18 (1): 15 ~ 19, 2008.
MAC核酸同定 (TRC)	田村 卓, 他: 日本臨床微生物学雑誌 18 (1): 15 ~ 19, 2008.

### 培養同定検査

ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	Wakefield AE et al : The Lancet 336 : 451 ~ 453, 1990.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口 恵三, 他: 医学と薬学 58 (4): 565 ~ 571, 2007.
レジオネラDNA 定性	山口 恵三, 他: 医学と薬学 58 (4): 565 ~ 571, 2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K, et al : J Clin Microbiol 44 (5) : 1899 ~ 1902, 2006.
赤痢アメーバDNA 定性	Tachibana H, et al : J Infect Dis 164 (4) : 825 ~ 826, 1991.
淋菌DNA	熊本 悦明, 他: 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本 悦明, 他: 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
ウイルス分離	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.
ウイルス同定	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.

### 病理組織検査

エストロゲンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
乳癌HER2タンパク(IHC)4B5	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
乳癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
子宮頸癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌ALKタンパク(IHC)D5F3	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP263	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
メラノーマ PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
頭頸部癌 PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏, 他: 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.

### 細胞診検査

膀胱癌FISH(ウロビジョン)	Sarosdy MF, et al : J Urol 168 (5) : 1950 ~ 1954, 2002.
-----------------	---

### 総合解析検査

悪性リンパ腫 総合解析検査「ML-NET」	菊池 昌弘 : Medical Technology 28 (2) : 114 ~ 121, 2000.
-----------------------	--

### リスク検査

男性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
男性AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.
女性AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691, 2010.

検査項目	測定参考文献
<b>免疫関連検査</b>	
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	Ohta M, et al : Clinical Chemistry 46 (9) : 1326 ~ 1330, 2000.
<b>自己免疫機能検査</b>	
TSBAbs(TSHレセプター抗体[阻害型])(Bioassay)	保科 元気,他 : 医学と薬学 80 (1) : 101 ~ 113, 2023.
<b>その他特殊検査</b>	
亜硝酸/硝酸イオン	Green LC et al : Analytical Biochemistry 126 : 131 ~ 138, 1982.
レプチン	鈴木 茂夫,他 : Bio Clinica 13 (12) : 1049 ~ 1052, 1998.
総タウ蛋白(AD)	湯原 麻子,他 : 医学と薬学 79 (1) : 91 ~ 97, 2022.
高分子量アディポネクチン(CLEIA)	折津 政江,他 : 医学と薬学 62 (5) : 891 ~ 898, 2009.
PCDHB DNAメチル化解析	近藤 豊 : パイロシーケンス法, 実験医学別冊 エビジェネティクス実験プロトコル : 77 ~ 91, 2008.
miR34b/c DNAメチル化解析	近藤 豊 : パイロシーケンス法, 実験医学別冊 エビジェネティクス実験プロトコル : 77 ~ 91, 2008.
<b>自己抗体検査</b>	
抗皮膚抗体	吉岡 順子 : 皮膚 23 (1) : 29 ~ 54, 1981.
抗ヒストン抗体	Burlingame RW et al : The Journal of Clinical Investigation 88 : 680 ~ 690, 1991.
抗ランゲルハンス氏島 抗体(ICA)	Bonifacio E et al : The Lancet 355 : 147 ~ 149, 1990.
抗好中球抗体	Lalezari P et al : Manual of Clinical Laboratory Immunohematology 4th Ed : 344 ~ 350, 1992.
抗プロトロンビン抗体	鎌木 淳一,他 : 医学と薬学 47 (5) : 813 ~ 819, 2002.
<b>補体系検査</b>	
C1エステラーゼ抑制因子定量	Tietz NW et al : Clinical Guide to Laboratory Tests 3rd Ed : 156 ~ 159,
<b>神経・筋疾患検査</b>	
ミエリン随伴性糖蛋白(MAG)自己抗体	McGinnis S et al : Journal of Neuroimmunology 17 : 119 ~ 126, 1988.
LHONミトコンドリアDNA Evaluation	Santorelli FM et al : Neurology 44 (5) : 972 ~ 974, 1994.
<b>腫瘍関連検査</b>	
Ri自己抗体	Andersson, P, et al:Anal. Chem. 79(11): 4022 ~ 4030,2007.
Hu自己抗体	Andersson, P, et al:Anal. Chem. 79(11): 4022 ~ 4030,2007.
Yo自己抗体	Andersson, P, et al:Anal. Chem. 79(11): 4022 ~ 4030,2007.
腫瘍随伴性レチノバシー (CAR)自己抗体	Andersson, P, et al:Anal. Chem. 79(11): 4022 ~ 4030,2007.